

東京都市大学 柏門技術士会

第20期通常総会

2023年度

(2023年4月～2024年3月)

議 案 書



2023年6月10日(土)

東京都市大学 柏門技術士会

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学 都市工学科事務室

TEL:03-5707-0104 (内 3200)

<http://www.tokyotosi-hakumon.org/>

次 第

第 20 期通常総会	司会 総務委員長
1. 会長 挨拶	佐藤会長
2. 議事	
第 1 号議案 第 19 期 活動報告	佐藤会長
第 2 号議案 第 19 期 決算報告 1) 第 19 期 収支決算報告 2) 第 19 期 監査報告	安藤事務局長
第 3 号議案 理事・監事の選出	総務委員長
第 4 号議案 第 20 期 活動計画	各委員長
第 5 号議案 第 20 期 予算案	安藤事務局長
3. 報告事項	
1 2023 年度顧問委嘱	総務委員長
2 体制表	〃
3 会員の動向	〃
閉会挨拶	安部副会長

第1号議案 理事会活動報告および各委員会活動報告

1. 理事会（運営委員会）開催日時

第33回理事会（198回）	2022年 4月 9日（土）	①
第34回理事会（199回）	2022年 5月14日（土）	①
第35回理事会（200回）	2022年 6月11日（土）	①
第36回理事会（201回）	2022年 7月 9日（土）	①
第37回理事会（202回）	2022年 9月10日（土）	①
第38回理事会（203回）	2022年10月 1日（土）	②
第39回理事会（204回）	2022年11月12日（土）	①
第40回理事会（205回）	2022年12月 3日（土）	③
第41回理事会（206回）	2023年 1月14日（土）	③
第42回理事会（207回）	2023年 2月11日（土）	①
第43回理事会（208回）	2023年 3月11日（土）	①

2. 場 所

- ①Web 会議
- ②東京都大学 4号館 2階 建築都市学群多用室
- ③交友会館自由が丘クラブ

3. 全体議事

3. 1 第20期定期総会に関して

- 1) 総会における議案説明次第の決定
- 2) 今年度活動報告および次年度計画に関する各委員会からの資料の検討
- 3) 第20期総会次第の審議

3. 2 総会議案書作成について

- 1) 総務委員会より、第20期総会の全体プログラム、議案書の表紙および次第、顧問名簿の変更点について説明
- 2) 顧問名簿については、大上先生に確認をいただき修正
- 3) 議案書の活動報告は主要な議事をまとめた内容にした。

3. 3 新入会員へ委員会活動参加の勧め

- 1) 委員会活動参加の勧め案内を作成し3年以内に入会した方にすすめる。
- 2) コロナ禍のためメール、会報誌による参加依頼。

3. 4 各委員会の委員増強について

若い会員の方に委員会に参加していただくよう、メール、会報誌による参加依頼。

3. 5 その他全体情報

- 1) 校友会に、「在校生への支援」として技術士第一次試験合格者へ受験料を助成することを確認

令和4年度合格者35名が発表され、校友会より支給された助成金を申請のあった合格者に支給した。

- 2) 令和4年度の合格祝賀会を令和5年5月10日に実施することとした。
- 3) 行事や会議等の開催はコロナ禍のためweb開催やハイブリッド開催とした。
- 4) 20周年記念式典及び基調講演の計画及び準備を行った。

4. 委員会活動報告

4. 1 総務委員会

- 1) 総会に向けての準備・工程案作成
- 2) 通常総会の運営と整理
- 3) 顧問の継続委嘱についてのお知らせおよび新任顧問への委嘱依頼、顧問への委嘱状発行
- 4) 会報誌発送ラベルの作成と印刷
- 5) 会員名簿の管理・更新

4. 2 広報委員会

- 1) HPの更新維持
 - ・ 柏門HPの継続運営
 - ・ 新規情報を継続的に掲載
- 2) メーリングリスト配信により会員へ総会案内、新情報を提供
- 3) 会報誌の編集及び出版を実施
- 4) 20年史編集委員会を運営し、20周年誌をまとめた

4. 3 教育委員会

- 1) 技術者倫理の講義担当
 - ・ 都市工学科の必修科目として実施し、5月で終了した。
 - ・ 都市工学科倫理講義の採点および取り纏めを、街道委員を中心に実施
- 2) 次年度の都市工学科技術者倫理授業の準備を進めた。
- 3) 講義はアクティブラーニングとしており、講義の後半はグループごとにテーマに沿った議論をした後に発表してもらっている。授業形式は対面型を実施した。

4. 4 企画渉外委員会

- 1) 6月定期総会後にCPD基調講演を開催
- 2) 2022年横浜祭コロナ禍にて中止、世田谷祭(11月)にて柏門技術士会ブース出典し技術制度のPR
- 3) 令和4年度技術士第一次試験合格祝賀会を令和5年5月20日に実施することとした。
- 4) NIMSのCPDweb見学会を9月14日に実施した。

4. 5 試験支援委員会

- 1) 技術士試験大学別合格者数の調査
 - ・ 第一次及び第二次試験の在学生合格者情報を大技連経由で試験センターから入手
 - ・ 都市大は、令和4年度の第一次試験は、在学生35名全国大学(高専含む)10位(私大5位)、卒業生38名全国大学39位(私大15位)。第二次試験は、25名全国大学39位(私大8位)

- ・都市大卒業生(武蔵工大含む)の技術士取得者を日本技術士会の協力を得て入手
- 2) 横浜キャンパスで特別講義(技術士補コース)を実施(全14回)
- 3) 都市工学科キャリア開発講義にて技術士制度及び柏門技術士会、第一次試験の説明をオンラインにて実施(2022年7月)

4. 6 事務局

- 1) 年会費納入者数の推移、運営委員会開催スケジュール他
- 2) 柏門技術士会会計管理
 - ・ 柏門技術士会の月次会計管理
 - ・ 年次予算計画及び年次収支報告の作成
- 3) 都市大メールアドレスを取得
 - ・ 各委員会の主要委員の都市大メールアドレス管理
- 4) 都市大サーバーの利用申請
 - ・ 都市大サーバーの柏門会員メーリングリスト利用
 - ・ 都市大サーバーのストレージ利用
- 5) 都市大サーバーの利用申請
- 6) WEB会議開催(ZOOMアカウント管理)
- 7) 都市大ロゴ入り柏門技術士会名刺の調整

4. 7 その他

- 1) 都市大卒業生(武蔵工大含む)の技術士取得者を日本技術士会の協力を得て入手、新規会員増の対応を進める

第2号議案 第19期 収支報告

東京都市大学 柏門技術士会 第19期 収支決算報告書

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第19期 予算	実績	実績-予算	備考
会費収入	425,000	450,000	25,000	フェロ-会員設定(1～5千円:予定:95人確保×4,500円⇒実績:99名平均4,545円)による増
行事会費	0	0	0	18期総会はコロナ禍にあってメール審議に伴い、懇親会は中止
協賛広告費	110,000	100,000	△ 10,000	会社)2社×50千円(株TERADA様、株トップライズ様) 個人)2名×5千円無しにて減
雑収入	550,000	308,012	△ 241,988	校友会:第一次試験助成金は、66名予定に対し、R4年度28名×11,000=308,000円減 端数12円は年間利息。
収入合計	1,085,000	858,012	△ 226,988	
前期繰越金	1,664,479	1,664,479	0	
収入総合計	2,749,479	① 2,522,491	△ 226,988	

2. 支出の部

科目	第19期 予算	実績	実績-予算	備考(増減理由等)
事務用品費	43,000	27,680	△ 15,320	事務用品、受験参考書等の購入減
印刷・通信費	90,000	69,951	△ 20,049	コロナ禍に伴う総会メール審議開催による印刷外注ほか減
行事会費	65,000	51,836	△ 13,164	コロナ禍に伴う総会・横浜祭のWEB開催による減
会報誌、広報	331,730	162,250	△ 169,480	総会テーブル起こし減、会報誌印刷費の削減減
委員会費	80,110	22,110	△ 58,000	理事会・委員会開催:コロナ禍に伴い、WEB会議を継続(ZOOM年間22,110円)減
渉外費他	667,200	355,031	△ 312,169	技術士第一次試験助成金(66名予定⇒R4年度試験28名*×11,000円/名)減、見学会中止減
源泉徴収税	14,294	7,390	△ 6,904	理事会承認により追加:任意団体においても謝金・原稿料の支払いにあたり源泉徴収10.21%が必要。昨期より計上減 ※20年史座談会クオカード5名×3,000円/名については、交通費補助として源泉徴収税不要としたが、20年史掲載記事の原稿料、謝金扱いになると判断し、20期において計上に修正
20年史準備金	400,000	140,904	△ 259,096	今期計上、次期向けのうち、今期発生した座談会関連費用として処理
支出合計	1,691,334	② 837,152	△ 854,182	
次期繰越金	1,058,145	③ 1,685,339	627,194	
支出総合計	2,749,479	2,522,491	△ 226,988	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 2,522,491	② 837,152	③ 1,685,339	2023(令和5)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-----------	-------------	---------------------

監査の結果、上記決算内容は適正であると認めます。

令和 5(2023)年 5月/2日

監事

中澤 真



監事

服部 尚道



第19期 当期支出内訳

科目	第19期予算			第19期支出		備考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	支出実績	実績-予算	
事務用品費			43,000	27,680	△ 15,320	
①会報誌・総会		封筒	5,000	8,800	800	前期同様
"		発送用あて先ラベル、インク等	3,000			
②20年史		資料等、購入・コピー代	10,000	0	△ 10,000	
③事務局		封筒、事務用品他	5,000	0	△ 5,000	会報誌送付用封筒等購入
④技術士試験支援		受験参考書	20,000	18,880	△ 1,120	講師参考書購入
印刷・通信費			90,000	69,951	△ 20,049	
①第19期総会		資料印刷費(70部)	15,000	5,534	△ 9,466	メール送信基本、不可⇒郵送
②第19期総会		案内往復葉書等(100枚)	5,000	0	△ 5,000	
③柏門案内		パンフレット(500部)作成費	0	0	0	非作成
④会報誌19号		送付費用	60,000	55,866	△ 4,134	今期宅配便値上げ:前期29800円
⑤世田谷祭		資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	リアル開催
⑥横浜祭		資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	WEB開催
⑦事務局		新規入会者等郵送代	5,000	4,221	△ 779	校友会事務局ほか
⑧技術士試験支援		資料等印刷費	1,000	4,330	3,330	WEB開催
行年会費			65,000	51,836	△ 13,164	
①第19期総会		懇親会費用	0	0	0	非開催
"		講演会講師謝礼	50,000	50,000	0	末政先生講演謝金
"		会場設営・設備補助	5,000	0	△ 5,000	非開催(メール審議)
②世田谷祭		ポスター準備・会場設営他	2,000	1,836	△ 3,164	非開催
		世田谷祭実行委員会対応	3,000			
③横浜祭		ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 5,000	WEB開催:本会説明動画:音声ナレーションソフト購入
		横浜祭実行委員会対応	3,000			
会報誌、広報			331,730	162,250	△ 169,480	
①会報誌19号		テープ起こし費用(講演会)	67,500	0	△ 67,500	講演資料転載で文字お越し不要
"		会報誌印刷代(モノクロ550部)	160,000	162,250	2,250	印刷:昨年変更の業者依頼
②20年史		テープ起こし費用(座談会)	67,500	0		
③HP維持費		HP用サーバーの賃借料	26,730	0	△ 26,730	サーバー改修に伴う徴収時期遅れ
④都市大新聞		広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	0	△ 10,000	非対応
委員会費			80,110	22,110	△ 58,000	
①交通費補助		技術士関連広報活動	40,000	0	△ 40,000	コロナ禍でZOOM利用へ変更
②委員会会議		会場費	22,110	22,110	0	ZOOM年間使用料
③寄付講座		講師交通費(謝金)	18,000	0	△ 18,000	非対応
渉外費他			667,200	355,031	△ 312,169	
①他大学技術士会等		総会・懇親会・シンポ参加費	0	3,000	3,000	日本技術士会総会大技連広告
②学生見学会後援		講師(6名)への手土産	8,000	0	△ 8,000	非開催
③見学会(7月)		見学先への手土産	3,000	0	△ 3,000	非開催
④見学会(11月)		見学先への手土産	3,000	0	△ 3,000	非開催
⑤大学顧問との交流会		意見交換会費	27,000	0	△ 27,000	非開催
⑥事務局		協賛先等へのお礼	55,000	44,031	△ 10,969	手土産代、寄稿謝金白木・蔵前 林様
⑦技術士第一次試験助成金		申請者への助成金支給(11,000円/人)	561,000	308,000	△ 253,000	R4年度:28名送金手数料は印刷通信費に計上
⑧技術士第一次試験合格祝賀会		祝賀会費用(合格者超過分)	0	0	0	非開催
⑨理事名刺		理事用名刺6名分@100枚	10,200	0	△ 10,200	非作成
源泉徴収税			14,294	7,390	△ 6,904	
①源泉徴収税		総会・懇親会・シンポ参加費	14,294	7,390	△ 6,904	理事会承認により昨期より追加 室田先生、白木先生、蔵前 林様 ※20年史座談会時5名×341円/名 は20期での計上に変更
20年史準備金			400,000	140,904	△ 259,096	
①20年史作成		20期:20年史作成準備金積立	400,000	140,904		
当期支出合計			1,691,334	837,152	△ 854,182	
			1,130,334	529,152	←助成金予算・支出を除く	

第3号議案 理事・監事の選出

1) 理事の選出

理事	佐藤 貢一 S60土木 (総合、建設) 会長	安部 毅 H02土木 (総合、建設、環境) 副会長・試験支援委員長	安藤 慎一郎 S57土木 (建設) 事務局長	浅野 研一 S52土木 (建設) 総務委員長
	稲沢 達也 S53土木 (総合、建設) 総務副委員長	石川 善信 S56/58修土木 (建設) 広報委員長	山浦 武彦 S62土木 (建設) 広報副委員長	松浦 弦三郎 S51土木/ H30修都市 (建設) 教育委員長
	林 克彦 S54土木 (建設) 教育副委員長	下條 信幸 S56電気 (電気電子) 企画渉外委員長	北村 敏 H01電気電子 (電気電子) 企画渉外副委員長	小林 洋一 S48電気 (電気電子) 試験支援副委員長

各欄最下段は20期役職

(計12名)

2) 監事の選出

監事	中澤 眞 S47電気 (情報)	服部 尚道 H04土木 /H06修土木(建設)		
----	--------------------	----------------------------	--	--

(計2名)

第4号議案 第20期 活動計画

総務委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会員の動向の把握および会員名簿の管理、顧問委嘱手続き、会則、細則の制定・改訂等の原案作成、総会の開催に関する一切の事項、他委員会の活動支援	
委員	委員長：浅野 研一 副委員長：稲沢 達也 委員：小原 丈二、鈴木 修、安藤 慎一郎、三浦 聡、荒川 興一	
第20期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	・総務委員会文章事項に関する協議及び情報交換	数回／年
2. 会則・細則の改定	・会則・細則に関する修正・提案事項の検討および改定案の作成	必要により検討実施
3. 第20期総会 創立20周年記念式典の開催	・議案書の作成 ・会員への連絡 ・総会及び式典の運営	2023年6月
4. 顧問の委嘱手続き	・大学教員の異動に伴う、顧問の見直しおよび委嘱依頼	2023年5月
5. 会員名簿管理	・新規会員の入会、転居・転職等の会員情報の変更、退会・逝去等の情報の登録 ・会員数の把握	随時
6. 交流会の実施	・コロナウィルスの状況により、実施の有無、実施時期を再検討する。	未定
7. 他の委員会への活動支援	・大学講義の実施や技術士ガイダンス ・一次試験合格祝賀会 ・大学祭ブース出展 等へ支援	随時
第20期以降の活動方針（中期的な活動方針）		
<ul style="list-style-type: none"> ・柏門技術士会が活動し易いように、随时会則及び細則の見直しを行っていく。 ・転勤や定年などにより連絡先が不明とならにように、メルマガや総会の案内などを通じて、随時会員の動向を把握する。 ・各委員会に若手の委員が参加できるよう、行事等を通じて声掛けをしていく。 ・長期的に技術士会員数を増やすために、大学事務局や顧問の先生方との交流会を実施して、大学全体の技術士制度に対する理解を深めていく。 ・技術士制度ガイダンスの実施や学祭のブースでの説明、大学講義での技術士制度の説明の充実などを、関係する委員会等と協力して実施していく。 		

広報委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会報誌の作成・発行、ホームページの運営管理、会員への広報活動	
委員	委員長：石川 善信 副委員長：山浦 武彦 委員：近藤 晴雄、松本 辰男、嶋矢 剛、服部 尚道、中林秀和、山川 和弘	
第 20 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 会報誌の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌第 20 号の作成の企画・編集・印刷・発行等 ・会報誌 20 号の作成は 6 月の総会記事を中心に掲載し、10 月に初旬に発送 	2023 年 6 月～
2. ホームページの運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運用 ・運営委員会議事録の掲載 ・CPD 見学会報告などのニュースを掲載 ・大学の発展の経過をアーカイブスとして掲載 	通年
3. 会員への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンを活用し CPD 見学会などの情報を会員へ発信する。 ・ホームページ会員コーナーに、過去の会報誌、理事会議事録を掲載 	通年
4. 都市大学生への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・都市工学科 3 年生を対象としたキャリア研修にて「技術士制度」の紹介 ・環境情報学部特別講義にて「技術士制度」の紹介 ・世田谷キャンパス、横浜キャンパスにおける技術士ガイダンスの開催を都市大に広報する。 	通年
5. 20 周年記念会報誌の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・20 周年史発行を受け、内容を精査し、30 年史へ向けたデータの引継ぎを行う。 	通年
第 21 期以降の活動予定（中期的な活動方針）		
<ul style="list-style-type: none"> ・20 周年史でまとめた、年表、資料編のデータを継続的に集計していく。 ・HP、メールマガジンの運用強化を進めていく。 		

教育委員会 活動計画

委員会の分掌事項	特別講義（ケーススタディ）、その他の教育と指導に関する企画と運営
委員	委員長：松浦 弦三郎 副委員長：林 克彦 委員：街道 浩、油井 理、山本 晃弘、松本 芳幸 (小原 丈二、山浦 武彦)

第 20 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	大学より依頼の講義の向上のため、実施後の反省、次回テーマの選定、日程調整などを行う。講義実施時は講師以外の者も出来る限り参加し討議補助をするよう調整する。	会議は年 2 回程度、その他メール等により随時調整
2. 特別講義（ケーススタディ）	今期も都市工学科より依頼の「技術者倫理」（3 年・必修）を緑土会（学科 OB 会）との「共同寄付講座」として、全講義時間の半分（今期は 100 分授業 7 回）行う。今期は対面授業での実施となる。（授業の動画は収録して WebClass にアップする）従来の討議等がスムーズに実施できるように講師以外の者も出来る限り参加し補助をするよう調整する。	2023 年 4~5 月
3. 技術士・技術士補の受験支援	14 期より技術士試験支援実行委員会が本学在学生等に対して本格的な受験支援の活動を始めたことから、状況に応じて補佐的支援を行う。	随時、必要の際調整する
4. その他	現在の具体的な活動は大学からの依頼に基づいていることもあり、都市工学科中心となっているが、他学部学科に対しても、必要に応じて、今後積極的に対応していく。	随時、必要の際調整する

第 21 期以降の活動予定（中期的な活動方針）

大学における人材育成は、社会の要請に基づいた教育をより重視していく方向にある。そのような教育環境を踏まえ、大学での講義は大学から依頼があることが必須であるため、「東京都市大学アクションプラン 2030」（「時代の要請に取り組み」という記述あり）に沿った具体的な講義プランに従って、どのような支援・協力出来るのかを大学側と十分なコミュニケーションを取りながら活動していく。

また、現在実施している講義等については、大学側の希望・時代の要請などを取り込みながら質的向上を計り、継続するべく努める。なお、学生教育については大学に加え、学科 OB 会等が活動をされている場合もあり、関係者との十分な調整の基に活動する。今後は、新たなメンバーに加わってもらい新たな発想のもとで協力し合いながら進めていく。

企画渉外委員会 活動計画

委員会の分掌事項	見学会、講演会、その他行事等の企画・運営並びに日本技術士会との交流と情報交換
委員	委員長：下條信幸 副委員長：北村 敏 委員：田部井哲夫、尾崎正明、藤本健、浦見成一、永井佑樹

第20期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	会員へのサービスを反映した CPD 行事、交流会の企画検討を行う。 世田谷祭、横浜祭の展示準備及び見学会の企画検討を行う。	適宜
2. 世田谷祭・横浜祭での 本会 PR ブースの開設	横浜祭、世田谷祭にブースにて出展、WEB開催の場合は動画を作成して参加を行う。 学生・教職員・大学事務局への“技術士制度&技術士“の啓発活動、柏門技術士会活動の PR、技術士第一次試験奨励活動を具体的にすすめる。	2023 年 横浜祭 9 月 世田谷祭 11 月
3. 見学会、講演会の開催	CPD 活動の一環及び会員への交流として見学会・講演会の WEB での開催を検討する。	2023 年
4. 技術士第一次試験合格者 お祝いの会	一次試験合格者の在校生との交流を深めるとともに、将来の第二次試験に向けての情報を提供する。	2024 年 2 月頃
5.		

第20期以降の活動方針（中期的な活動方針）

会員相互の交流のために、多くの会員が参加できる CPD 見学会、講演会等を企画していく。
学生に技術士受験の推進のための広報活動を積極的に行う。
18、19 期はコロナ禍で通常での開催はほとんど実行なく学園祭、講演会は WEB での開催をとした。
今後は以前のように対面で実施したい。

試験支援委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	技術士制度のガイダンス及び特別講義の実施、その他の技術士資格取得に関する企画と運営	
委員	委員長：安部 毅 副委員長：小林 洋一 委員：近藤 晴雄、小林 政徳、進藤 敏則、永田 嘉和、永尾浩一、仲田貞夫	
第 20 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 横浜キャンパス 特別講義 (技術士補コース)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・メディア情報学部共通、2年生を対象に前期第2Q全14回の講義を実施する。 ・全面的に対面授業が再開されるため、横田教授、講師間連携の下、準備を進める。 	2023年 6月～7月
2. 受験ガイダンスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・受験申込の時期に合わせ、学生ポータル等での受験奨励の働きかけを行う。 ・大学と連携の上、全学部・全学年を対象に受験ガイダンスを実施する。 	2023年6月
3. 模擬試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・形式等学校事務局と連携の上実施し、在学生の受験者増と合格率増を図る。 ・採点と激励コメントにより、モチベーション向上を図り、合格率増を目指す。 	2023年8月
4. その他、試験奨励活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・都市工学科3年生のキャリア開発の講義等で、技術士試験の説明を実施する。 ・また、柏門HPを活用し、第二次試験奨励活動の充実を図る。 	2023年6月 適宜
5. 学内広報活動 (広報委員会と連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・受験支援制度、受験ガイダンス、模擬試験等について、学生ポータル等で広報する。 ・学生の合格者数について、柏門HPでPRするとともに大学の広報とも連携を図る。 	適宜
第 21 期以降の活動予定 (中期的な活動方針)		
<ul style="list-style-type: none"> *JABBE 認定されている学生 (現在、都市工学科、機械工学科、原子力安全工学科等) を含め、在学中の第一次試験の受験、及び資格取得拡大に向けた検討を行う。(目標：在学生 100 名合格) *受験ガイダンス、模擬試験の実施その他の取組を行い、受験者増と合格率向上を図る。環境創生学科、都市工学科で定着した取組について、全校全学部への拡大を図る。 *技術士試験の出題傾向や問題の分析を行い、特別講義やガイダンス等に反映させるとともに、必要に応じ大技連での情報交換、日本技術士会への情報提供を行い、質の向上、制度の充実を図る。 *第一次試験の対策にとどまらず、第一次試験を通過した若手の会員等を対象とした第二次試験取得のための支援活動について、柏門HPの更新や相談の充実などに取り組む。 		

第5号議案 第20期 収支予算

東京都市大学 柏門技術士会 第20期 収支予算案

(令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第19期 実績	第20期 予算	増減(20期-19期)	備考
会費収入	450,000	425,000	△ 25,000	年会費:95人×(1~5千円) ※19期:96名
行年会費	0	140,000	140,000	総会開催想定(会費:35人×4千円/人)
協賛広告費	100,000	640,000	540,000	・20年史)7社×50千円+6社×25千円+8人×5,000円 20号)2社×50千円
雑収入	308,012	495,000	186,988	校友会第一次試験助成金45名495千円(19期35名合格:28名申請)+受託利息
20年史準備金	0	259,096	259,096	19期において20年史準備金:総額40万円を計上。19期には座談会文字お越費(140904円前借支出。
当期収入合計	858,012	1,959,096	1,101,084	
繰越金	1,664,479	1,426,243	△ 238,236	ただし、19期実績繰越金1,685,339-20年史準備金259,096
収入総合計	2,522,491	① 3,385,339	862,848	

2. 支出の部

科目	第19期 実績	第20期 予算	増減(20期-19期)	備考(増減理由等)
事務用品費	27,680	33,000	5,320	通期分は18期と同様の計上として19期予算より減。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
印刷・通信費	69,951	95,000	25,049	会報誌送付料値上げ想定による増。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
行年会費	51,836	250,000	198,164	20周年記念総会懇親会開催、および世田谷祭・横浜祭再開予想に伴う増。
会報誌、広報	162,250	335,850	173,600	総会特別講演テープ起こし+HP維持管理費(サーバーレンタル料値上げ+コンテンツアップデート外注化)増。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
委員会費	22,110	80,110	58,000	技術士関連広報活動のリアル活動増加予想に伴う増額(前年予算同様)
渉外費他	355,031	614,200	259,169	第一次試験合格助成金(36名実績に対する45名想定)。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
源泉徴収税	7,390	7,000	△ 390	前期同等実績(特別講演1名+寄稿2名を想定)。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
20年史準備金*	140,904	735,600	594,696	20年史準備金40万円に対し476504(140904+335,600)増。(①事務用品費、②印刷費、③送付費用、④寄稿謝金、⑤源泉徴収税)
当期支出合計	837,152	② 2,150,760	1,313,608	
繰越金	1,685,339	③ 1,234,579	△ 450,760	
支出総合計	2,522,491	3,385,339	862,848	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 3,385,339	② 2,150,760	③ 1,234,579	令和6(2024)年3月31日時点残高予想
-------------	-------------	-------------	-------------	-----------------------

第20期 当期支出予算内訳(案)

科目	第20期 予算		備考 *(但し以下に記載の数字は前期予算との差異)
	内訳項目	内訳品名 予算内訳	
事務用品費		33,000	前期予算43,000より10,000減(20年史関連費用は科目を変更)
①会報誌・総会	封筒	5,000	前期予算同様
②事務局	封筒、事務用品他	5,000	〃
③技術士試験支援	受験参考書	20,000	前期予算同様、試験内容の変更に伴う新書購入等を踏まえて予算確保
印刷・通信費		95,000	前期予算90,000から5,000増
①第20期総会	資料印刷費(70部)	15,000	外注費用を確保。ハイブリッド会場用として半減(15000円減)
②第20期総会	案内往復葉書等(100枚)	5,000	今期総会実施見込+ハイブリッド開催にてメール送信不可として5,000円増
③柏門案内	パンフレット(500部)作成費	0	前期同様、作成しない。
④会報誌20号	送付費用	65,000	前期予算×1.2(宅配便再値上げ予想(82⇒164円/冊))(5000円増)
⑤世田谷祭	資材運搬費	2,000	前期予算同様
⑥横浜祭	資材運搬費	2,000	〃
⑦事務局	新規入会者等郵送代	5,000	〃
⑧技術士試験支援	資料等印刷費	1,000	〃
行事会費		250,000	前期予算65,000から185,000増
①第20期総会	懇親会費用	185,000	20周年記念総会開催を見込んだ予算確保(総会60名参加見込(招待者25名+会費参加者35名@4000円予定))
②世田谷祭	ポスター準備・会場設置他	2,000	前期予算同様
③横浜祭	ポスター準備・会場設置他	2,000	〃
④会報誌20号	テープ起こし費用	67,500	前期予算同様
⑤HP維持費	HP用サーバーの賃借料	96,100	SSL化を含む変更。価格上昇前期実績を設定、HP改訂メンテナンス費用も66,000円計上
⑥都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	前期予算同様、新聞会活動再開で広告費を計上
委員会費		80,110	前期予算から増減なし
①交通費補助	技術士関連広報活動	40,000	前期予算同様、世田谷祭・横浜祭ハイブリッド出展を想定
②委員会会議	会場費	22,110	前期実績同様、1,110増(WEB会議継続:ZOOM年間費用)
③寄付講座	講師交通費	18,000	前期予算同様、ハイブリッド授業への対応、IPEJからの補助額減を踏まえて計上
渉外費他		614,200	前期予算667,200から53,000減
①他大学技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	5,000	コロナ禍明けに伴う計上(弊会:大技連幹事校)。
②学生見学会後援	講師(6名)への手土産	8,000	前期予算同様、対応について検討
③見学会(7月)	見学先への手土産	3,000	〃
④見学会(11月)	見学先への手土産	3,000	〃
⑤大学顧問との交流会	意見交換会費	27,000	前期同様、開催を前提として計上、27,000円増
⑥事務局	協賛先等へのお礼	55,000	前期同様
⑦技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)	503,000	前期実績35名合格を踏まえ、45名申請者を見込む(振込手数料は柏門より45@165円)
⑧技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用	0	前期同様、企画渉外委員会独自会計とする。会計では予算計上しない。
⑨理事名刺	理事用名刺6名分@100枚	10,200	前期同様、理事半数分(6名分)を見込む(6×1,700円)
源泉徴収税		7,000	前期予算14,294から7,294減
①源泉徴収税	総会特別講演・会報誌寄稿謝金への課税分10.21%	7,000	総会特別講演50,000*1名+20号(5000*2名)
20年史準備金		735,600	前期予算400,000から335,600増。なお19期座談会支出140,904円を加えると、40万予算に対して476,504増(合計876,504支出予定)。
①事務用品費	封筒代、資料等、購入・コピー代	24,000	今回特別 :10,000増+封筒1000枚×14=14,000円
②印刷・通信費	送付費用	160,400	送付800冊@167円×1.2値上げ想定
③会報誌、広報	会報誌印刷代(モノクロ1000部)2023/6発刊予定	467,200	1000部白黒印刷 特別号(送付用封筒込み。送料は次期計上)
④渉外費他	20年史寄稿謝金	75,000	10,000×1名+5,000×13名予定
⑤源泉徴収税	20年史寄稿謝金への課税分10.21%	9,000	
当期支出合計		2,150,760	1,647,760 ←助成金を含まない予算金額

報告事項 1 2023年度顧問委嘱

NO	名称	現 職	氏 名	NO	名称	現 職	氏 名
1	最高顧問	東京都市大学 学長	三木 千壽	22	顧 問	理工学部 原子力安全工学科 主任教授	鈴木 徹
2	最高顧問	(学)五島育英会 理事長	泉 康幸	23	顧 問	理工学部 自然科学科 主任教授	橋本 義武
3	顧 問	NPO法人建設技術監査センター 理事 相談役	五艘 章	24	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科 主任教授	岩下 剛
4	顧 問	副学長(統括,教育担当)	大上 浩	25	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科 主任教授	白旗 弘実
5	顧 問	副学長(キャンパス連携担当) デザイン・データ科学部長	関 良明	26	顧 問	情報工学部 情報科学科 主任教授	向井 信彦
6	顧 問	副学長(研究担当)	野中 謙一郎	27	顧 問	情報工学部 知能情報工学科 主任教授	森 博彦
7	顧 問	大学院総合理工学研究科長	田口 亮	28	顧 問	名誉教授	増田 陳紀
8	顧 問	大学院環境情報学研究科長	リジナル ホーム・パドワル	29	顧 問	総合理工学研究科教務委員長	高津 淑人
9	顧 問	理工学部長	柴田 随道	30	顧 問	理工学部教務委員長	鈴木 憲史
10	顧 問	建築都市デザイン学部長	末政 直晃	31	顧 問	情報工学部教務委員長	神野 健哉
11	顧 問	情報工学部長	横山 孝典	32	顧 問	建築都市デザイン学部教務委員長	佐藤 幸恵
12	顧 問	環境学部長	史 中超	33	顧 問	環境学部 環境創生学科 主任教授	飯島 健太郎
13	顧 問	メディア情報学部長	岩野 公司	34	顧 問	環境学部 環境経営システム学科 主任教授	岡田 公治
14	顧 問	都市生活学部長	坂井 文	35	顧 問	理工学部 原子力安全工学科准教授	松浦 治明
15	顧 問	人間科学部長	早坂 信哉	36	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科教授	岡野 好伸
16	顧 問	共通教育部長	山口 勝己	37	顧 問	理工学部 応用化学科教授	宗像 文男
17	顧 問	理工学部 機械工学科 主任教授	白木 尚人	38	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科教授	近藤 靖史
18	顧 問	理工学部 機械システム工学科 主任教授	秋田 貢一	39	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科准教授	五艘 隆志
19	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科 主任教授	野平 博司	40	顧 問	情報工学部 情報科学科講師	星 義克
20	顧 問	理工学部 医用工学科 主任教授	和多田 雅哉	41	顧 問	理工学部 自然科学科教授	吉田 真史
21	顧 問	理工学部 応用化学科 主任教授	黒岩 崇				

報告事項2 体制表

1. 全体

役職名	
最高顧問	第20期総会 報告事項1 2023年度顧問委嘱参照
顧問	第20期総会 報告事項1 2023年度顧問委嘱参照
会長	佐藤 貢一
副会長	安部 毅
事務局長	安藤 慎一郎
理事	第20期総会 第3号議案 理事参照
監事	第20期総会 第3号議案 幹事参照

2. 体制表

2023年度 体制表

委員会名	委員長	副委員長	委 員			
総 務	浅野 研一	稲沢 達也	小原 丈二	鈴木 修	安藤 慎一郎	三浦 聡
			荒川 興一			
広 報	石川 善信	山浦 武彦	近藤 晴雄	松本 辰男	嶋矢 剛	服部 尚道
			中林 秀和	山川 和弘		
教 育	松浦 弦三郎	林 克彦	松本 芳幸	油井 理	街道 浩	山本 晃弘
企画渉外	下條 信幸	北村 敏	田部井 哲夫	尾崎 正明	藤本 健	永井 佑樹
			浦見 成一			
試験支援	安部 毅	小林 洋一	近藤 晴雄	小林 政徳	進藤 敏則	永田 嘉和
			永尾 浩一	仲田 貞夫		

報告事項3 会員の動向

物故会員

会員名	備考
高見 英俊 (S42 土木)	
八木沢 浄 (S48 土木)	
寺下 徹 (S50 土木)	

新入会員

会員名	備考
間嶋 申明(H10(修H12)電気電子)	
杉崎 友哉 (R4 機械システム)	修習技術者
緑川 恭子(R6 都市デザイン)	修習技術者
渡邊 康之 (H03 土木)	
松井 隆祥(R4 原子力・放射線)	修習技術者
住田 亮 (H10(修H12)機械)	修習技術者
多田 直樹 (H13 経営工学科)	
高田 祐 (H2(修H4) 土木)	
小林 剛 (R6 総合理工学研究科 建築・都市専攻)	

退会

会員名	備考
宮崎 武雄 (S44 土木)	
平川 邦彦 (S50 土木)	